

令和7年度 第1回学校評価集計分析結果

1 実施時期 令和7年6月下旬～7中旬

Formsによるアンケート形式

2 対象及び回答状況 * () 昨年度第2回

生徒 720名回答/725名 回答率 99% (99%)

保護者 578名回答/710名 回答率 81% (81%)

教員 44名回答/44名 回答率 100% (95%)

3 分析内容

(1) 分析表の表示について

ア 分析の質問項目は、表現をまとめたもの。

イ 数値は肯定的評価「とてもそう思う」「そう思う」の合計。下段は前回（昨年度第2回）の数値。

ウ 生徒、保護者、教員について、同様の項目がないものについては、「-」と表示している。

(2) 学校生活全般について

| 1 質問項目 (学校生活全般) | 生徒 | 保護者 | 教員 |
|--------------------|-------|-------|-------|
| ア 本校は魅力的な学校である | 95.3% | 92.0% | 97.7% |
| | 94.2% | 92.5% | 97.6% |
| イ 本校に入学して(させて)良かった | 93.9% | 92.0% | - |
| | 94.4% | 93.3% | - |

「本校は魅力的な学校」、「本校への入学」については肯定的評価が9割を超えており、多くの生徒・保護者が学校生活全般に満足していることがうかがえる。

(3) 学習指導について

| 2 質問項目 (学習指導) | 生徒 | 保護者 | 教員 |
|-------------------|-------|-------|-------|
| ウ 十分な学力を身につけている | 75.8% | 53.5% | 93.2% |
| | 81.2% | 60.7% | 85.4% |
| エ 課題プリントや週末課題は適切 | 87.6% | - | 90.9% |
| | 88.9% | - | 92.7% |
| オ 毎日家庭学習時間を確保している | 64.3% | 53.5% | - |
| | 64.0% | 56.1% | - |

8割以上の生徒が、「生徒が理解しやすいよう工夫や改善を行っている授業が多い」(83.1%)、「課題プリントや週末課題は適切に出されている」(87.6%)と肯定的評価をしているものの、「十分な学力を身につけている」については、生徒、保護者、教員の肯定的評価の回答割合に隔たりが見られる。生徒・保護者とも、昨年度第2回から肯定的評価が減少しているが、昨年度同時期の第1回では、生徒73.4%、保護者50.0%であり、昨年度第1回比は、生徒2.4%増、保護者3.5%増となっている。また、45分7校時授業については、9割を超える生徒が肯定的に評価している。

(4) 生徒指導について

| 3 質問項目 (生徒指導) | 生徒 | 保護者 | 教員 |
|------------------------|-------|-------|-------|
| カ 服装、整容、挨拶に関することは守っている | 96.0% | 86.5% | 65.9% |
| | 94.9% | 90.5% | 73.2% |
| キ 安全で健康的な学校生活を送っている | 97.2% | 92.0% | - |
| | 96.2% | 93.2% | - |
| ク 先生方は生徒の悩み等の相談にのっている | 81.7% | 50.5% | 95.5% |
| | 85.7% | 66.1% | 100% |
| ケ 学習と部活動を両立させている | 64.3% | 60.7% | 79.5% |
| | 61.0% | 61.2% | 73.2% |

「服装、整容、挨拶」に関する肯定的評価は、生徒・保護者・教員の肯定的評価の回答割合に隔たりが見られる。「先生方は生徒の悩み等の相談にのっている」の保護者の肯定的評価は約半数である一方で、29%が「わからない」と回答している。「学習と部活動の両立」については、生徒・保護者の肯定的評価が約6割にとどまっている。「部活動に積極的に参加している」について、保護者の88.8%が肯定的評価をしていることから、学習面の評価に課題があるものと推測される。

(5) 進路指導について

| 4 質問項目 (進路指導) | 生徒 | 保護者 | 教員 |
|---------------------------|-------|-------|-------|
| コ 進路指導が適切に行われている | 89.7% | 59.0% | 93.2% |
| | 92.3% | 71.4% | 95.1% |
| サ 進路に関する情報が生徒(家庭)へ提供されている | 91.9% | 56.9% | 81.8% |
| | 92.7% | 64.2% | 90.2% |

「進路指導が適切に行われている」に関する肯定的評価は、生徒・教員のほぼ9割が肯定的評価をしている一方、保護者においては59.0%（前回比12.4%減）であり、28.0%は「分からない」との回答であった。「進路に関する情報」についても同様の傾向が見られる。

大学等のオープンキャンパスや体験型研修に関する情報等については、教室内へのチラシ掲示やTeams等により随時生徒に紹介しているものの、生徒各自の端末から進路情報を得る形になりつつある。生徒が主体的に進路活動に取り組んでいくためにも、家庭において進路に関する話し合いをしたり保護者から問いかけたりすること等により、生徒の進路意識の涵養が図られることと思う。また、本校では、保護者向け進路講演会・説明会（PTA主催含む。）も実施しておりますのでぜひご参加ください。

4 まとめ

お忙しい中、回答にご協力いただき誠にありがとうございました。肯定的評価が8割を超えた項目は、生徒が19項目中12項目、保護者が18項目中6項目であり、今後も改善・見直しを図っていきたいと考えます。様々な観点から貴重なご意見・ご提言、感謝の言葉も頂戴しました。年度後半に向け、今後の教育活動の参考とさせていただきますながら、改善に努めてまいります。今後ともご協力の程よろしく願いいたします。